

常 磐 自 動 車 道  
大 野 台 希 望 の 橋 ( 鋼 上 部 工 ) 工 事

契 約 参 考 図 書

( 率 計 上 項 目 及 び 概 算 数 量 、 図 面 )

1	全体図
2	大野台希望の橋（上部工）
3	大野台希望の橋（下部工）
4	参考図
5	契約参考図書

令和7年11月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
いわき工事事務所

## 図面目次（契約参考図書）

図面番号		図 面 名	
1		数量総括表	
2 ～ 4		風向風速計 仮設状況図(1)～(3)	
5		風向風速計 撤去図	
6		風向風速計 仮設置図(参考図)	
7		風向風速計 作業台姿図(参考図)	
8		大野台希望の橋 排水溝平面図	
9		大野台希望の橋 排水系統図	
10		大野台希望の橋 排水計画図	
11		大野台希望の橋 検査路配置図	
12		迂回路看板位置図	
13		大野台希望の橋 橋梁管路図	
14		大野台希望の橋 通信管路配管図	
15		復旧工平面図(立入防止柵)	
16		復旧工詳細図(立入防止柵)	
17		大野台希望の橋 落下物防止柵詳細図	

数量総括表

項 目		種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
風向風速計	撤去工	風向風速計 仮設撤去工(支柱含む)	箇所	1.0	撤去品再使用
		P.BOX 250*250*250	箇所	1.0	
		配管撤去工 B2-G28(1)	m	163.3	
		配管撤去工 既設配管	m	5.6	
		配線撤去工 CVV-S 1.25sq-6C	m	228.3	
	仮設工	風向風速計 仮設置工(支柱含む)	箇所	1.0	撤去品再使用
		配線工(屋外管内)CVV-S 1.25sq-6C	m	4.5	
		端子接続工(屋外) 6P	箇所	1.0	
		ケーブル銘板	枚	2.0	
通信管路配管工	B1-VE54	m	872.4		
	B1-VE42	m	436.2		
	B1-VE22	m	267.6		
	B2-SUSFX54	m	36.0		
	B2-SUSFX42	m	18.0		
	B2-SUSFX22	m	8.5		
ハンドホール設置工	配管引出し HH 550*700*200	箇所	6.0	b部:5箇所	
	配管引出し HH 500*600*200	箇所	9.0	a部:8箇所	
	プルボックス設置工 P.BOX 550*700*400	箇所	8.0	b部:6箇所	
	プルボックス設置工 P.BOX 500*600*300	箇所	10.0	a部:8箇所	
	プルボックス設置工 P.BOX 250*350*200	箇所	2.0		

項 目		種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
用排水溝		Ds-PuL・0.60・0.60(R)(F)	m	29.70	(R):再設置
		Ds-PuL(3)・0.50・0.50(F)	m	29.50	
		Ds-PuL^(GL1)・0.30・0.30(F)	m	7.60	
		Ds-Bf・0.300・0.200(F)	m	26.00	
		Dv-Bf・0.250・0.175(5)	m	4.60	
		PCV(1)・0.24	m	3.60	
集水ます		Dc-0.50・0.50・0.50(F)	箇所	3.0	
		Dc-0.80・0.80・0.80(F)	箇所	1.0	
		Dc-0.80・0.80・0.80(R)(F)	箇所	1.0	(R):再設置
		Dc^(GL1)-0.60・0.60・0.60(F)	箇所	3.0	
		Dc^(GL1)-0.80・0.80・0.80(F)	箇所	1.0	
油水分離ます		TypeD1	箇所	2.0	のり面用
		TypeD2	箇所	1.0	平地用

項 目	種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
復旧工	立入防止柵	m	156.0	

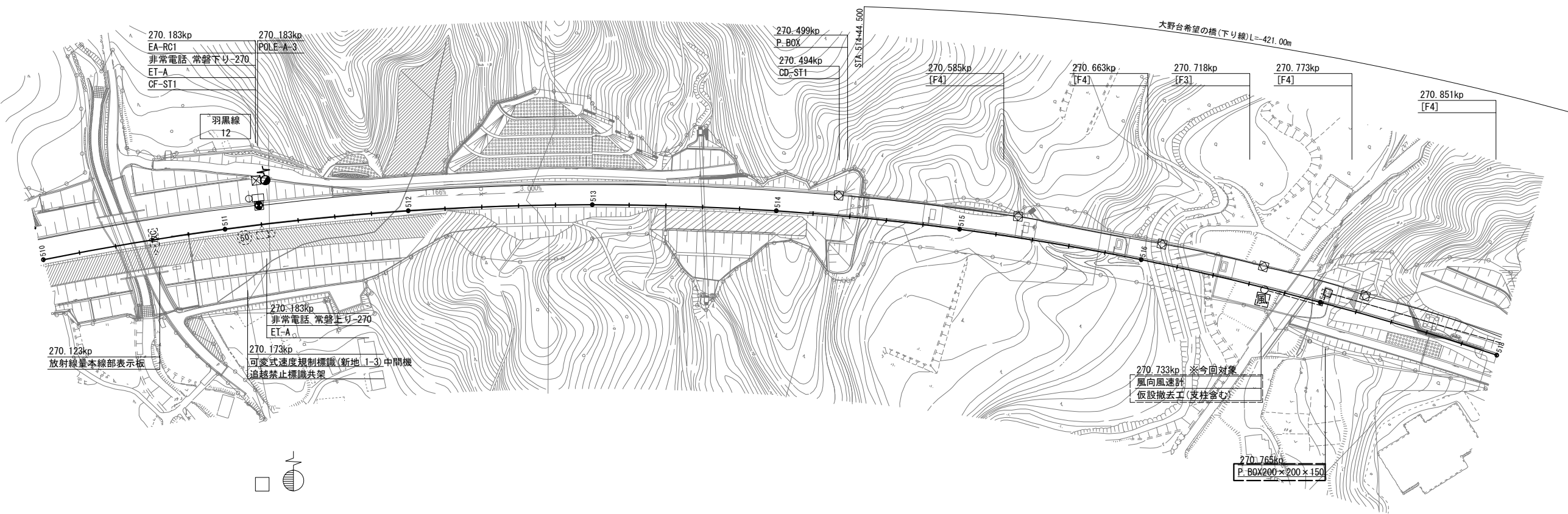
項 目	種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
排水管	200A	m	449.1	
検査路		m	805.7	上部工
		m	124.3	下部工
落下物防止柵	G1-2	m	50.0	

項 目	種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
迂回路看板	1100×1400	枚	5.0	

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	数量総括表		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

風向風速計 仮設状況図(1)

270. 1kp~270. 9kp



上下線 将来 下り線	土工部	1		1		2	2	2	2	2	2	2	2
	路肩												
	中分												
将来 上り線	中分												
	路肩												
	土工部												

この区間での支障移転作業について

- <対象設備>
- 下り線：地藏川橋 気象観測局（風向風速計への配管配線の敷設）
- 上り線：風向風速計（気象観測設備）
- <工事区分>
- 土工工事：なし
- 舗装工事：なし
- 施設工事：なし
- 橋梁工事：仮設風向風速計の設置と仮設配管配線の敷設、既設風向風速計の撤去、大野台希望の橋の橋梁工事
- <作業手順>
- ステップ1-①：既設風向風速計を撤去する。
- ・風向風速計本体は撤去（再使用有り）とし、移設（仮設）先は270. 953kpの既設気象観測設備集合支柱に取り付ける。

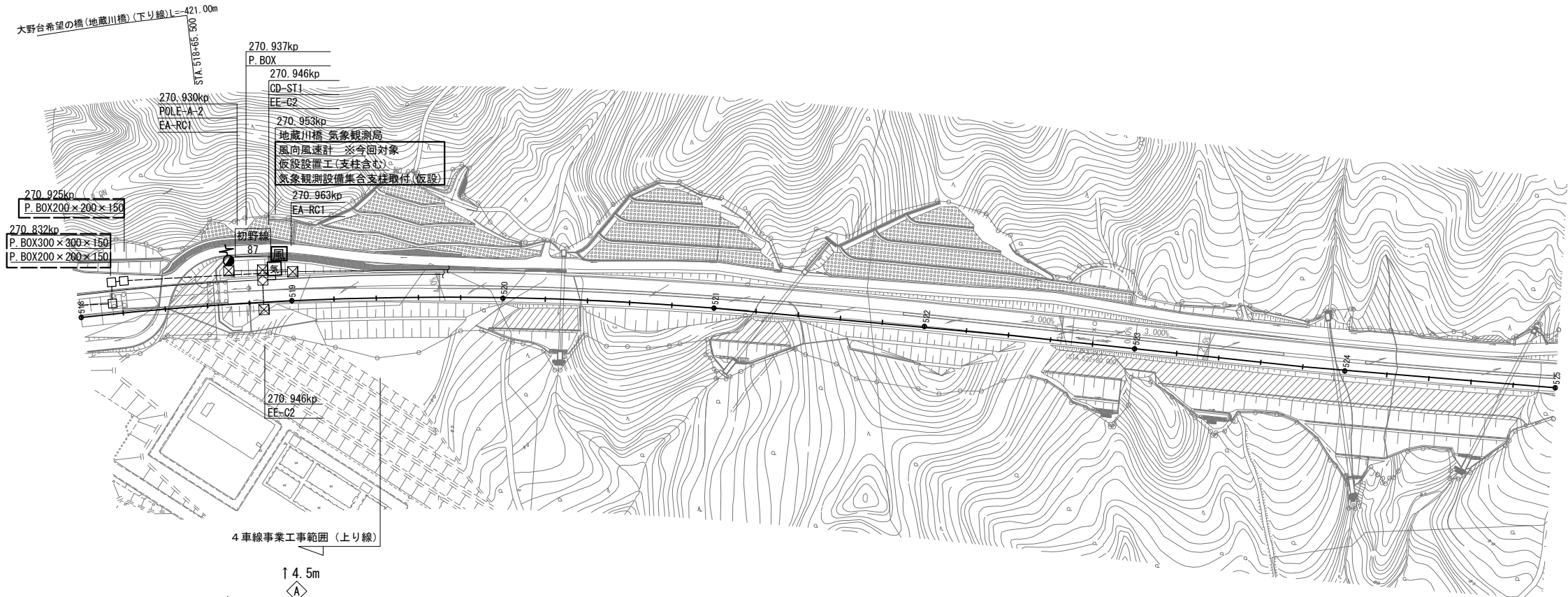
凡例

- ：新設（仮設）
- ：既設
- ：撤去

常磐自動車道 大野台希望の橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	風向風速計 仮設状況図(1) 270. 1kp~270. 9kp		
縮 尺	1:2500	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

風向風速計 仮設状況図(2)

270. 9kp~271. 6kp



この区間での支障移転作業について

- <対象設備>  
下り線：地蔵川橋 気象観測局（風向風速計への配管配線の敷設）  
上り線：風向風速計(気象観測設備)
- <工事区分>  
土工工事：なし  
舗装工事：なし  
施設工事：なし  
橋梁工事：仮設風向風速計の設置と仮設配線の敷設、既設風向風速計の撤去、大野台希望の橋の橋梁工事
- <作業手順>  
ステップ1-②：既設風向風速計本体を既設気象観測設備集合支柱に取り付け、仮設配線を接続する。  
※風向風速計の仮設については、土工工事の施工状況に合わせた施工方法の検討が必要となる。  
※風向風速計の仮設位置及び取付方法等の詳細及び仮設運用の可否については、  
監督員と協議し決定するものとする。  
ステップ1-③：既設風向風速計までの配管配線を撤去する。

仮設配管工の留意点

- ・草刈り作業等で切断しない様、目印等で目目に付く様に施しておくと共に、関係各署に周知するものとする。
- ・仮設配管がガードレールと平行して走るルートの場合はガードレールやガードポストを利用して結束する。
- ・仮設配管が立入防護柵と平行して走るルートの場合は防護柵を利用して結束する。
- ・仮設配管配線長については現場で容易に移動可能なように、想定範囲内で余長を設けるものとする。
- ・仮設配管は強化型F P管とし、管路の防護は「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル」によるものとする。

凡例

- ：新設(仮設)
- ：既設
- ：撤去

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	風向風速計 仮設状況図(2) 270. 9kp~271. 6kp		
縮 尺	1:2500	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

風向風速計 仮設状況図(3)  
配管配線表

① 既設管路

光幹線ケーブル	幹線	48SM-TP-PE	VE42
メタル幹線ケーブル	幹線	CCP-AP0.65-30P	VE54

② 既設管路

光幹線ケーブル	幹線	48SM-TP-PE	VE42
メタル幹線ケーブル	幹線	CCP-AP0.65-30P	VE54

③ 既設管路

非常電話・可変式速度規制標識 電源	CV3.5sq-2C, IV3.5	FP30
気象観測設備 電源	CV3.5-2C	FP30

④ 既設管路

非常電話・可変式速度規制標識 電源	CV3.5sq-2C, IV3.5	FP30
気象観測設備 通信	8SM-TP-PE	FP30

⑤ E1-FP30 (1) ※今回対象

風向風速計計測	CVV-S 1.25° -6C	FP30
---------	-----------------	------

⑥ B2-G28 (1) ※今回対象

風向風速計計測	CVV-S 1.25° -6C	G28
---------	-----------------	-----

⑦ 既設管路

空き管路	--C--	PS25
------	-------	------

⑧ 既設気象観測設備集合支柱内 ※今回対象

(仮設)風向風速計	CVV-S 1.25° -6C	支柱内
-----------	-----------------	-----

風向風速計 数量集計表

項 目		種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
風向風速計	撤去工	風向風速計 仮設撤去工(支柱含む)	箇所	1.0	撤去品再使用
		配管撤去工 B2-G28(1)	m	163.3	
		配線撤去工 CVV-S 1.25sq-6C	m	228.3	
	仮設工	風向風速計 仮設設置工(支柱含む)	箇所	1.0	撤去品再使用
		配線工(屋外管内)CVV-S 1.25sq-6C	m	4.5	
		端子接続工(屋外) 6P	箇所	1.0	
		ケーブル銘板	枚	2.0	

凡例

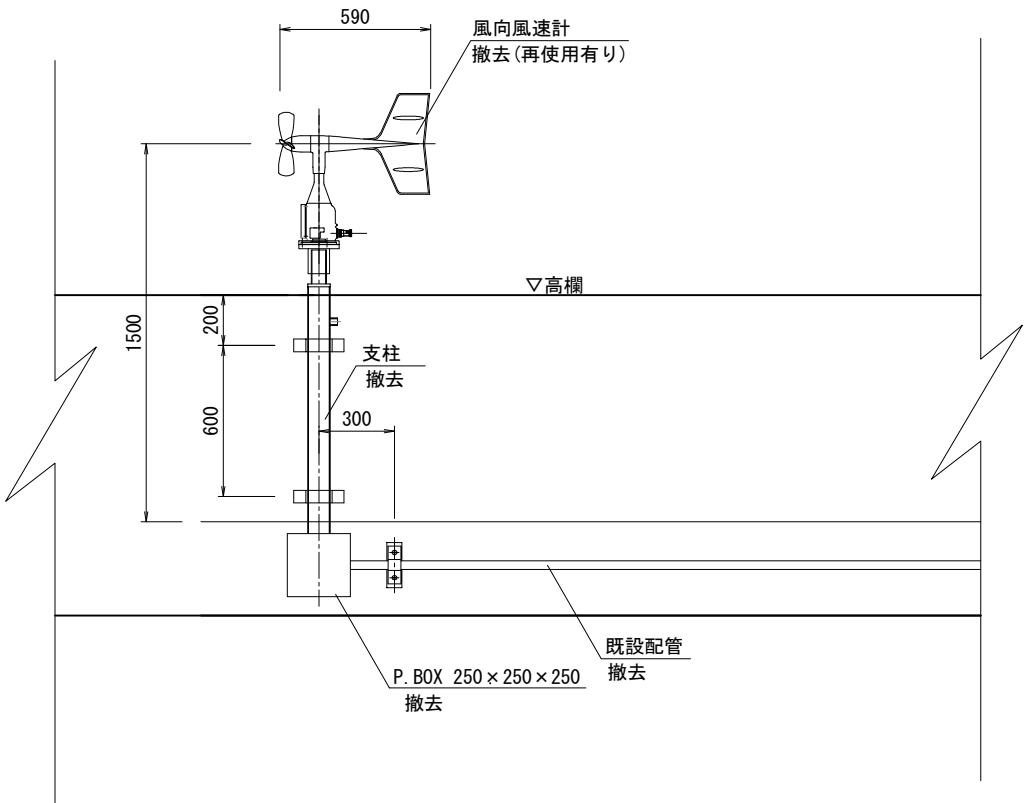
:新設(仮設)

:既設

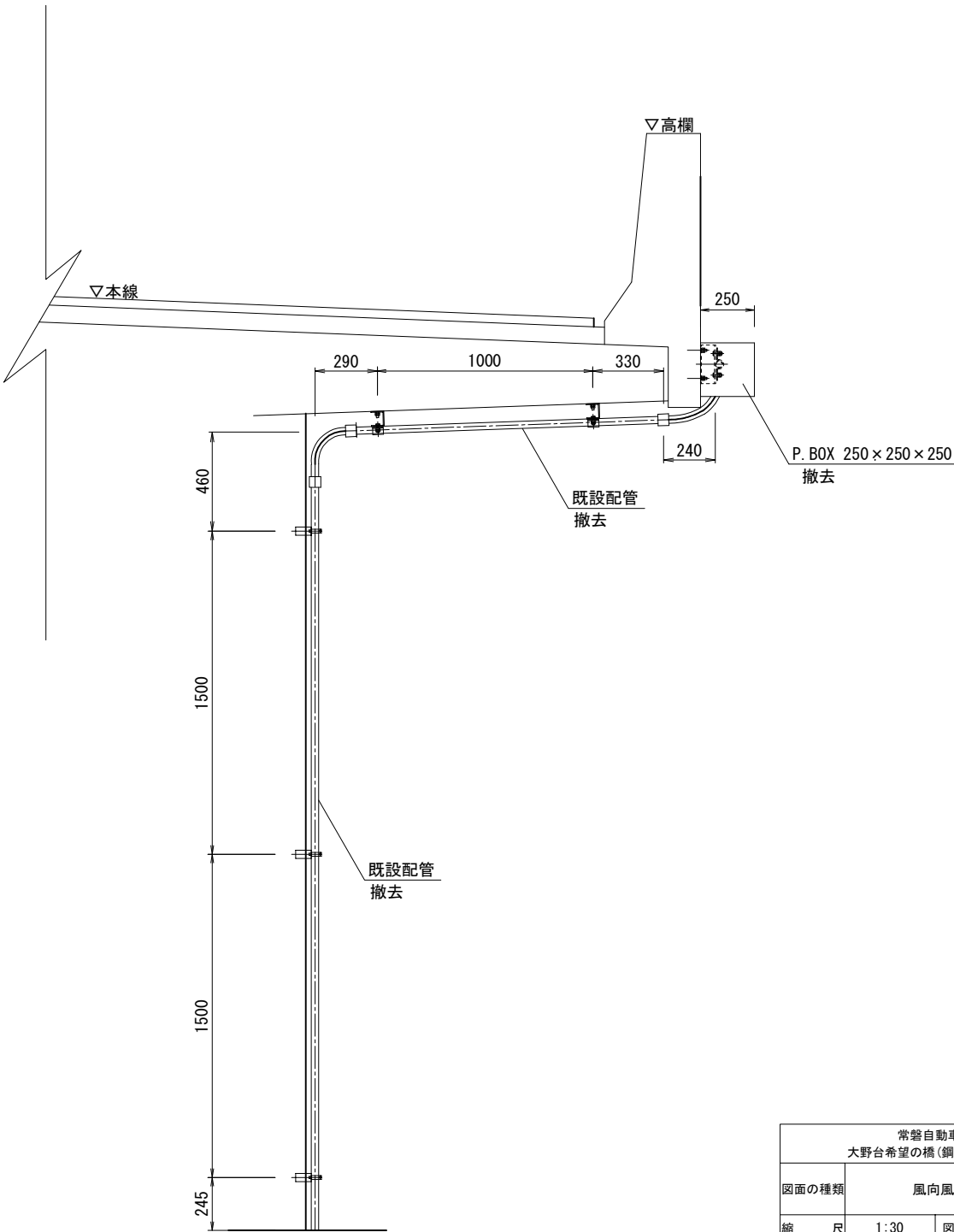
:撤去

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	風向風速計 仮設状況図(3) 配管配線表		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

正面図



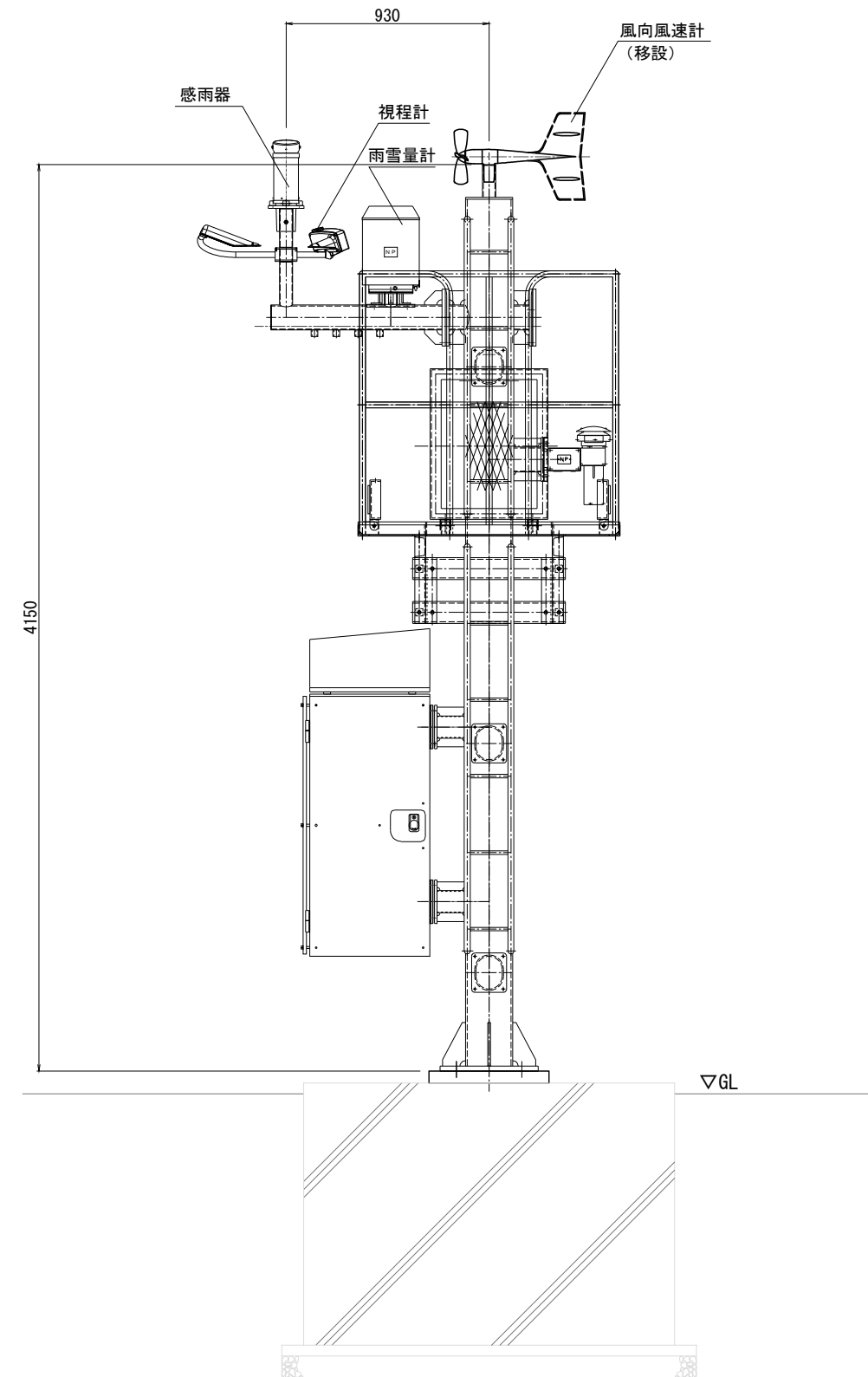
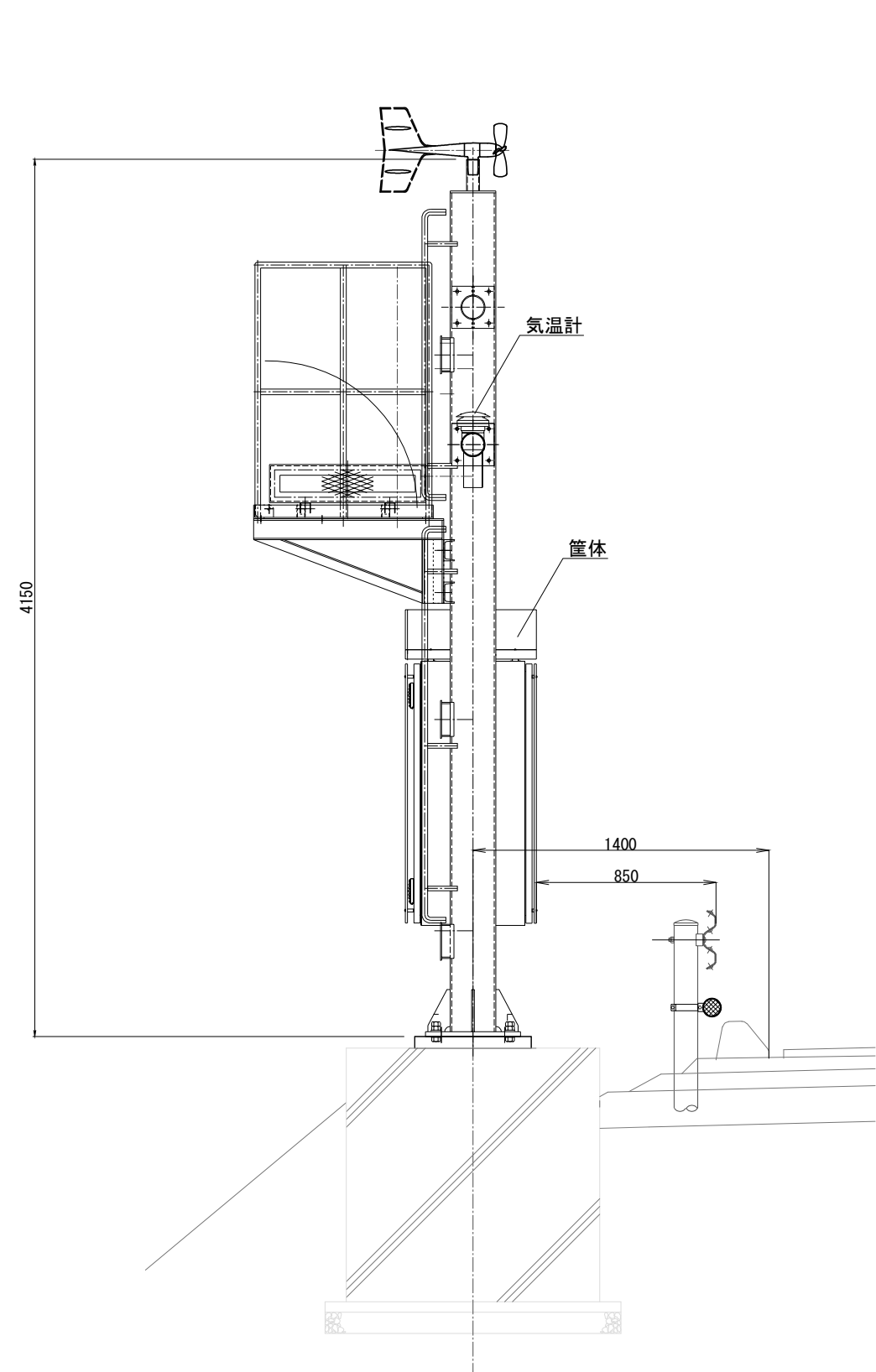
側面図



風向風速計 数量集計表

項 目		種別・寸法等	単位	数 量	摘 要
風向風速計	撤去工	P.BOX 250*250*250	箇所	1.0	
		配管撤去工 既設配管	m	5.6	

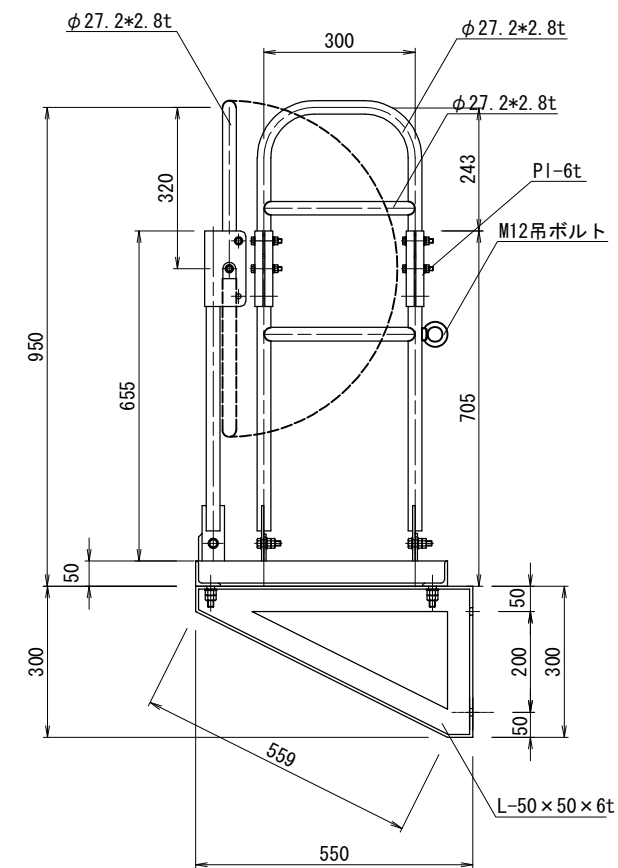
常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事				
図面の種類	風向風速計 撤去図			
縮 尺	1:30	図面番号	/	
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所			



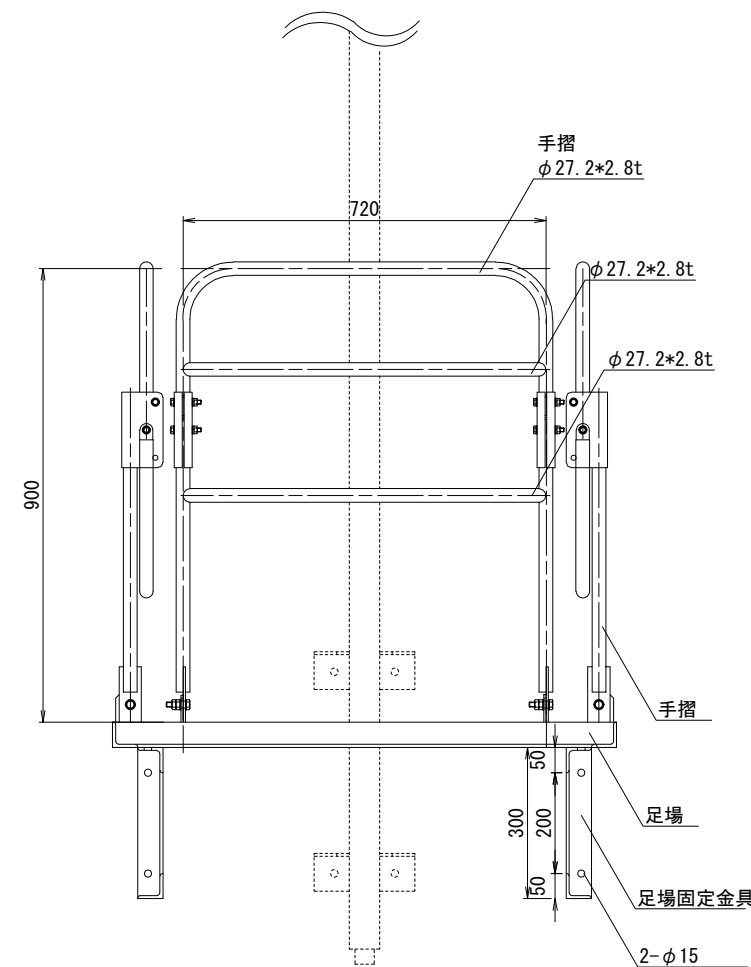
- 【注記】  
1. 図中の外形及び寸法は全て参考とする。

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	風向風速計 仮設設置図(参考図)		
縮 尺	1:30	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

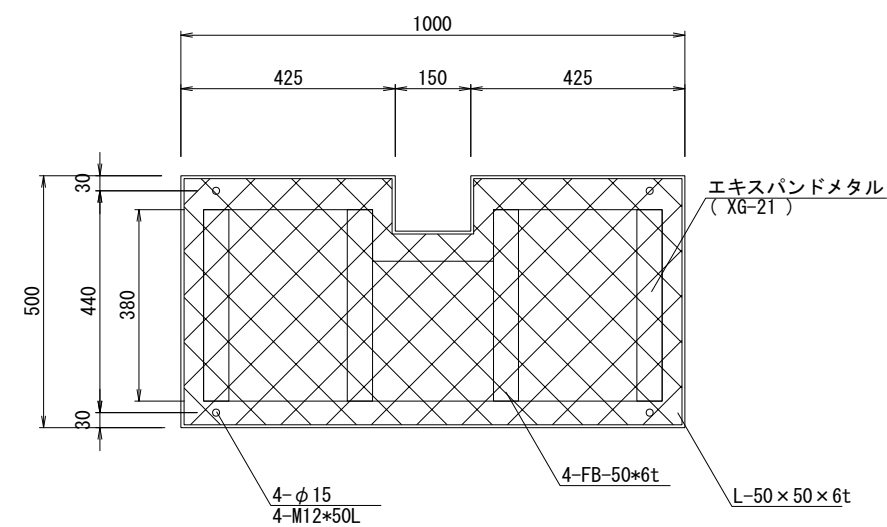
側面図



正面図



平面図



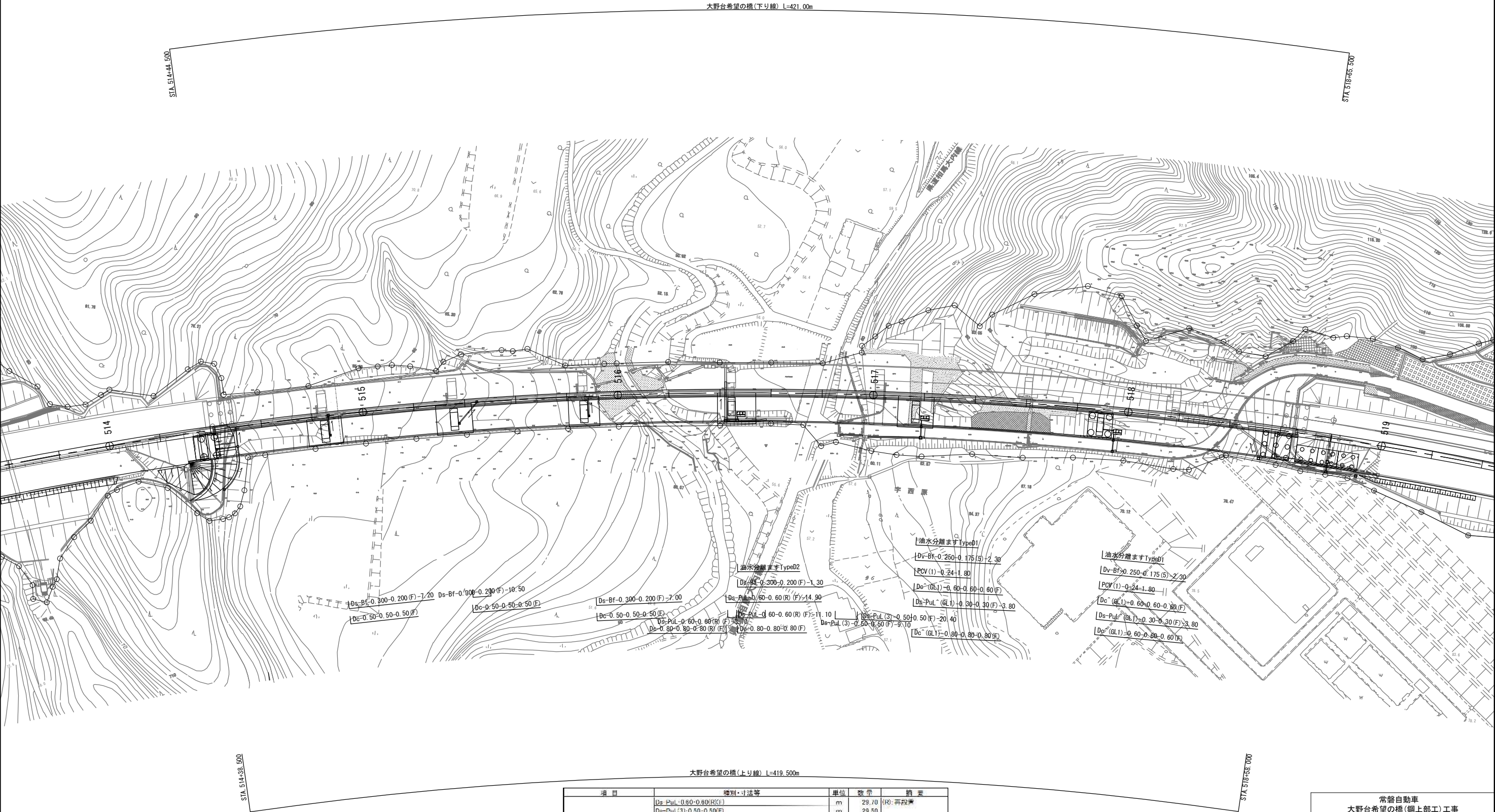
材 料 表

種類	寸 法 (mm)	数量	単位重量	重 量 (kg)	備 考
STK	φ27.2*2.8t*900	2	1.68 (kg/m)	3.024	手摺 長
STK	φ27.2*2.8t*720	3	1.68 (kg/m)	3.629	手摺 長
STK	φ27.2*2.8t*900	4	1.68 (kg/m)	6.048	手摺 短
STK	φ27.2*2.8t*300	6	1.68 (kg/m)	3.024	手摺 短
L	L50×50×6×300	2	4.43 (kg/m)	2.658	足場固定金具
L	L50×50×6×550	2	4.43 (kg/m)	4.873	足場固定金具
L	L50×50×6×559	2	4.43 (kg/m)	4.953	足場固定金具
L	L50×50×6×500	2	4.43 (kg/m)	4.430	足場
L	L50×50×6×1000	2	4.43 (kg/m)	8.860	足場
FB	t6-50×380	4	2.36 (kg/m)	3.587	足場
E. METAL	XG-21 1000×500	1	13.70 (kg/m2)	6.850	足場
合計				51.936	

【注記】

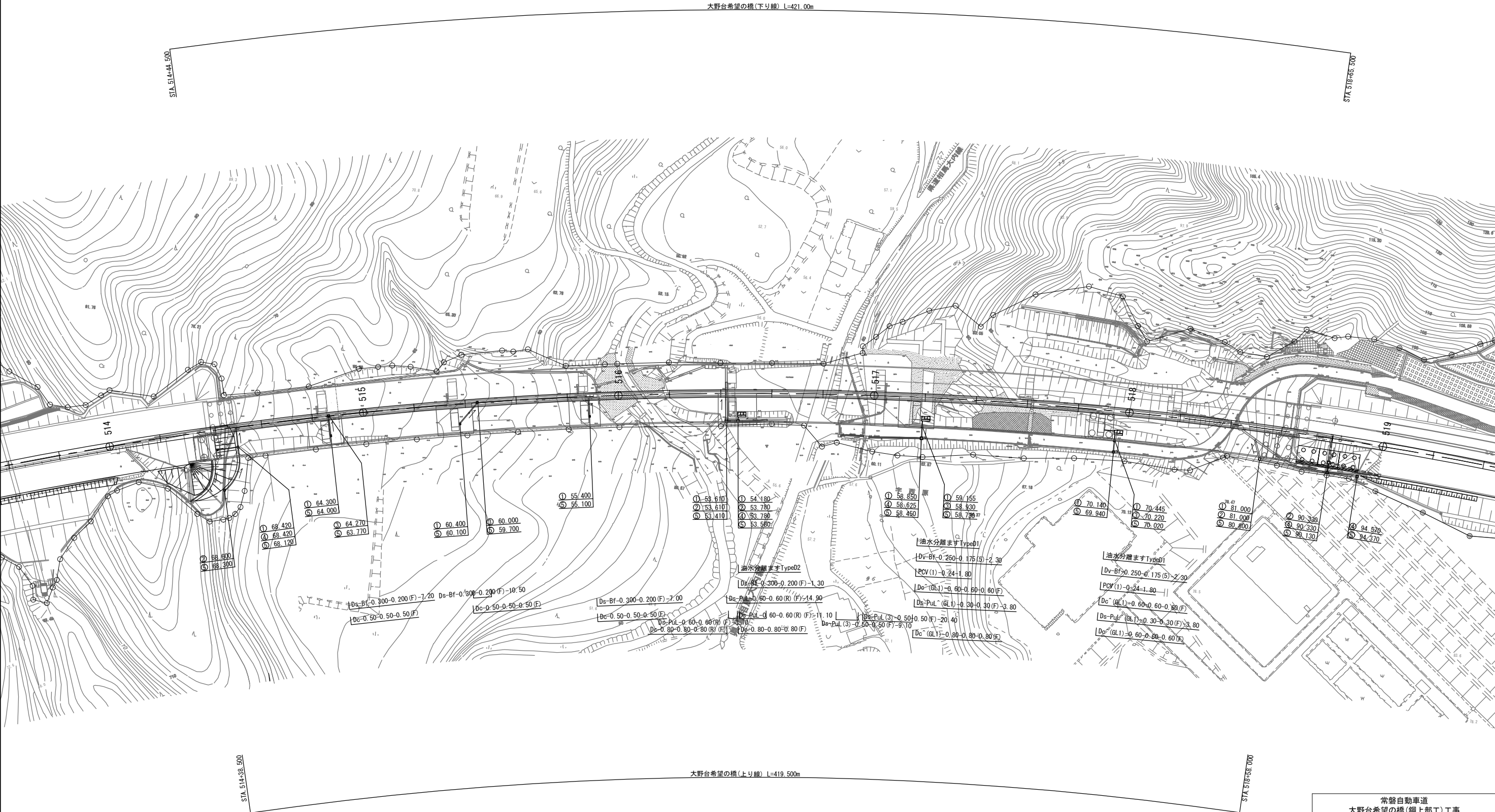
1. 工事受注者は風向風速計の支柱及び作業台について強度計算を行い監督員の確認を得るものとする。
2. 部材は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
3. 図中の外形及び寸法は全て参考とする。
4. 風向風速計本体の取付けおよび配線の取り出しは施設工事にて行うものとする。

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	風向風速計 作業台姿図(参考図)		
縮 尺	1:15	図面番号	/
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		



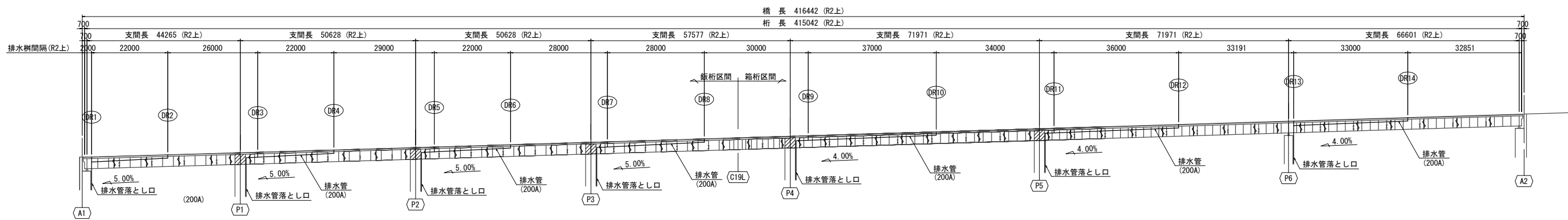
項目	標別・寸法等	単位	数量	摘要
用排水溝	Ds-PUL(0.80-0.80(R)(F))	m	29.70	(R):再設
	Ds-PUL(3)-0.50-0.50(F)	m	29.50	
	Ds-PUL(GL1)-0.30-0.30(F)	m	7.60	
	Ds-BF(0.300-0.200(F))	m	26.00	
	Dv-BF(0.250-0.175(F))	m	4.60	
	PCV(1)-0.24	m	3.60	
集水ます	Dc-0.50-0.50-0.50(F)	箇所	3.0	
	Dc-0.80-0.80-0.80(F)	箇所	1.0	
	Dc-0.80-0.80-0.80(R)(F)	箇所	1.0	(R):再設
	Dc(GL1)-0.60-0.60-0.60(F)	箇所	3.0	
	Dc(GL1)-0.80-0.80-0.80(F)	箇所	1.0	
油水分離ます	TypeD1	箇所	2.0	のり面田
	TypeD2	箇所	1.0	平地用

常磐自動車 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	大野台希望の橋 排水溝平面図		
縮 尺	1:1,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		



常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	大野台希望の橋 排水系統図		
縮 尺	1:1,000	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

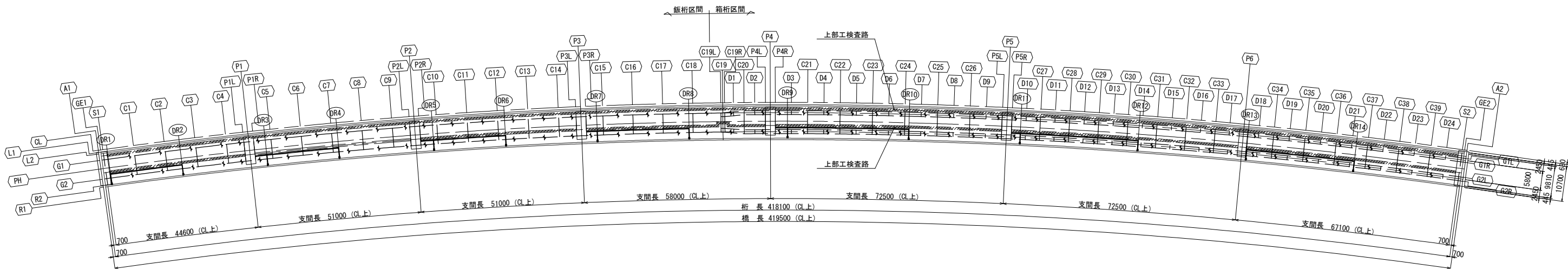
側面図



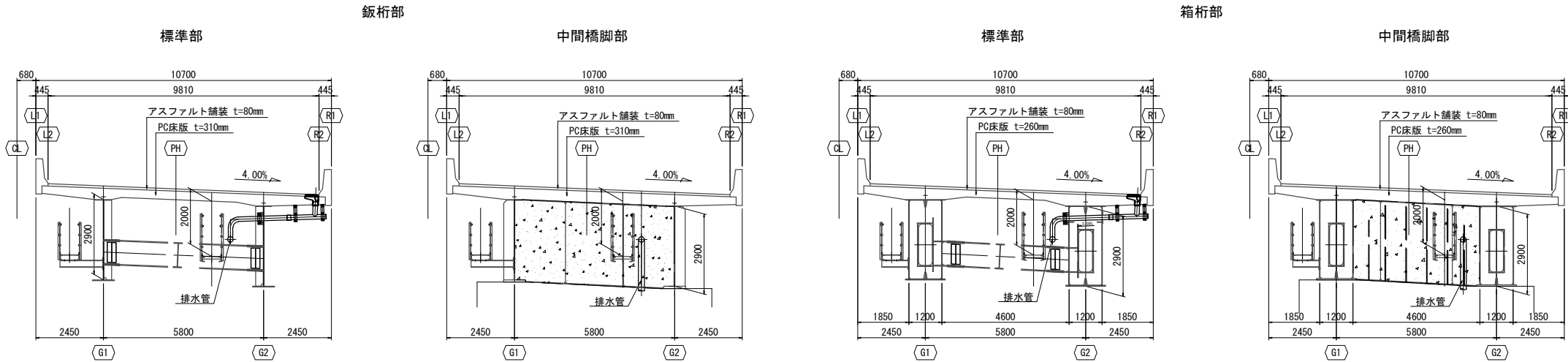
橋梁付属物工 数量集計表

項目	種別・寸法等	単位	数量	摘要
排水管	200A	m	449.1	

平面図

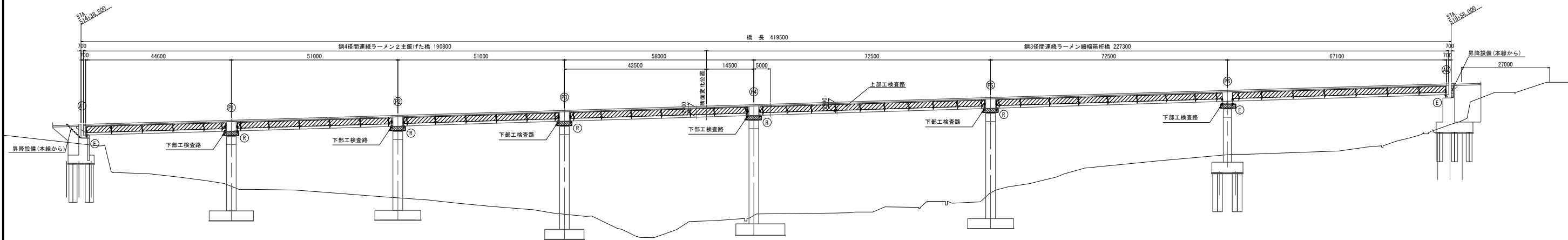


断面図 S=1:200



常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	大野台希望の橋 排水計画図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

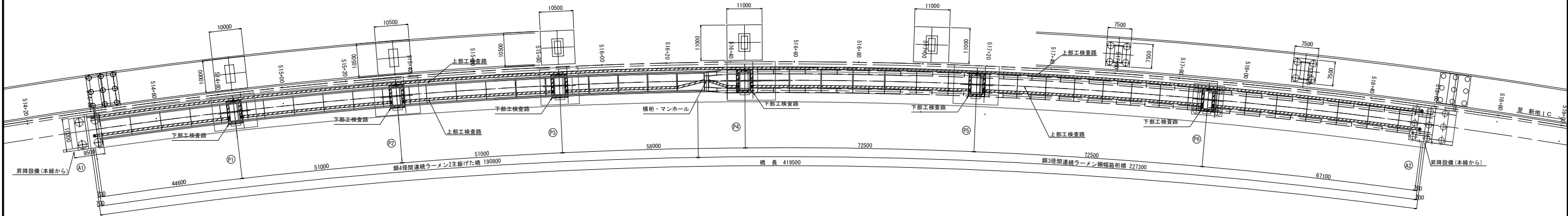
側面図



橋梁付属物工 数量集計表

項目	単位	数量	摘要
検査路	m	805.7	上部工
	m	124.3	下部工

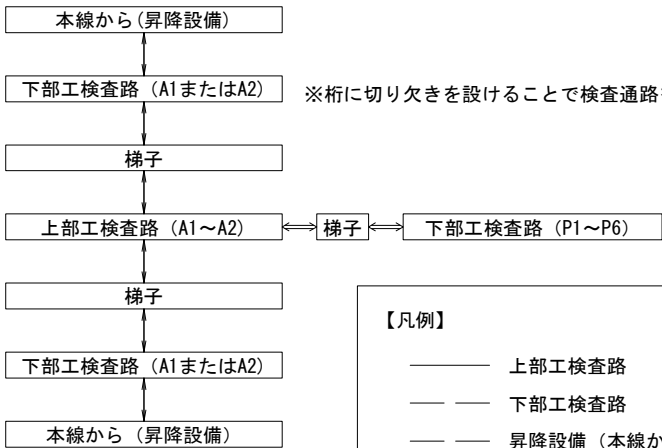
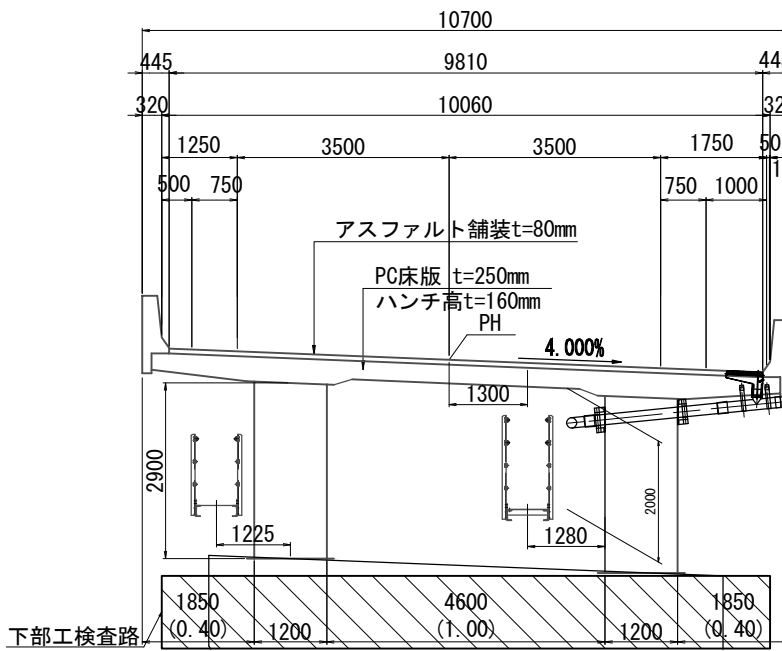
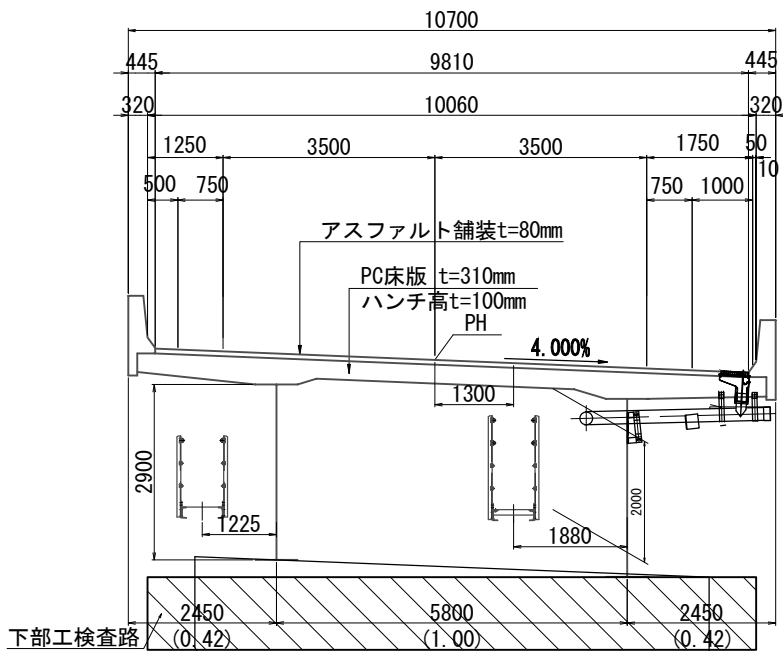
平面図



(鈑桁部)

上部工標準断面図 S=1:250

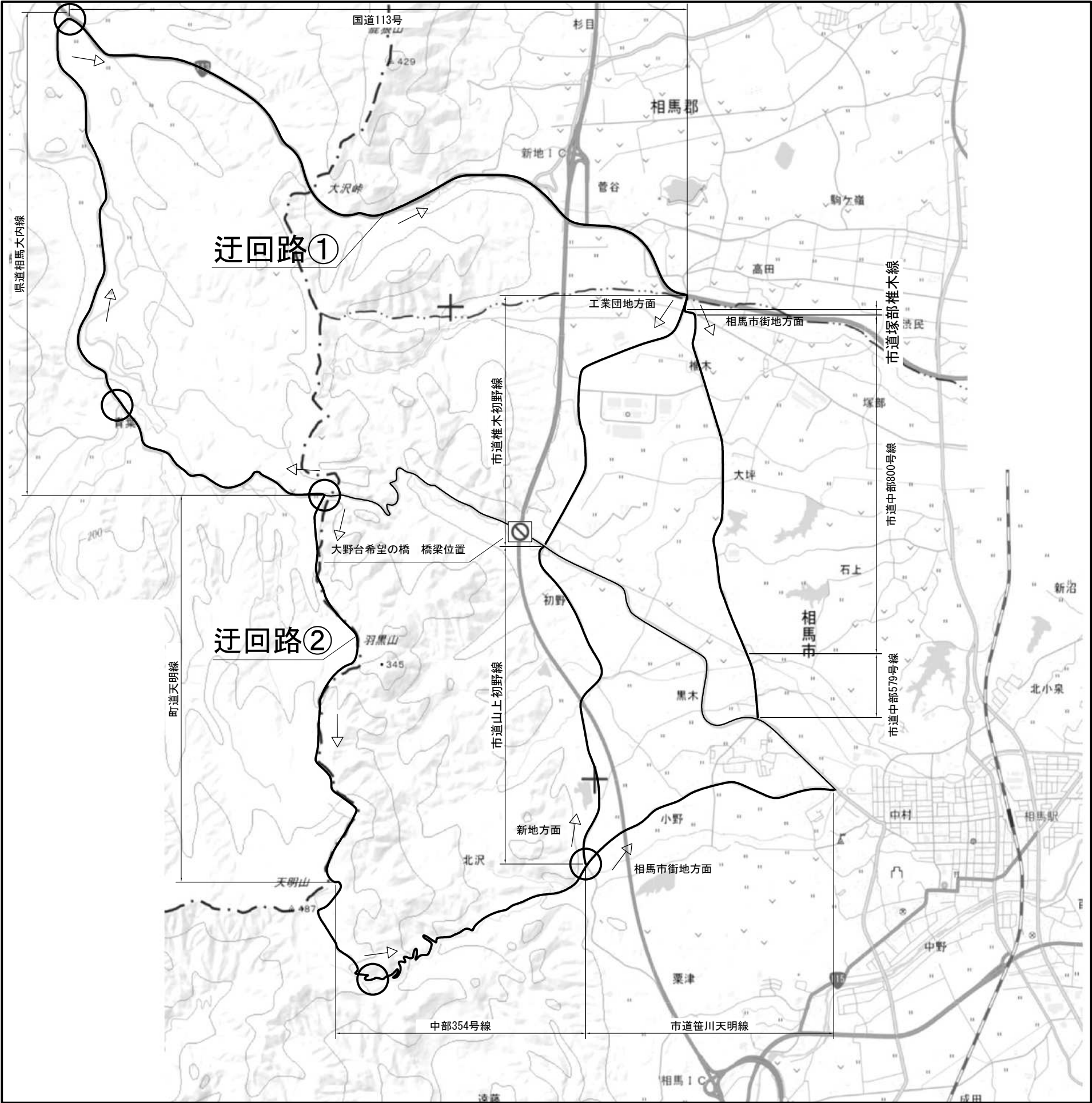
(箱桁部)



【凡例】

- 上部工検査路
- 下部工検査路
- 昇降設備 (本線から)
- 昇降設備 (検査路間)

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	大野台希望の橋 検査路配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		



看板詳細図

縮尺 1:100

1100

1400

# 通行止め・迂回路

大野台希望の橋(鋼上部工)工事の為この先通行止めとなります。下記の期間は図のように迂回をお願いします。

〈期間〉  
令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日まで(予定)



発注者 東日本高速道路(株) いわき工事事務所相馬分室  
電話 0244-36-0330  
受注者 ○○○○○○ ○○○○○○  
電話 ○○○○-○○-○○○○

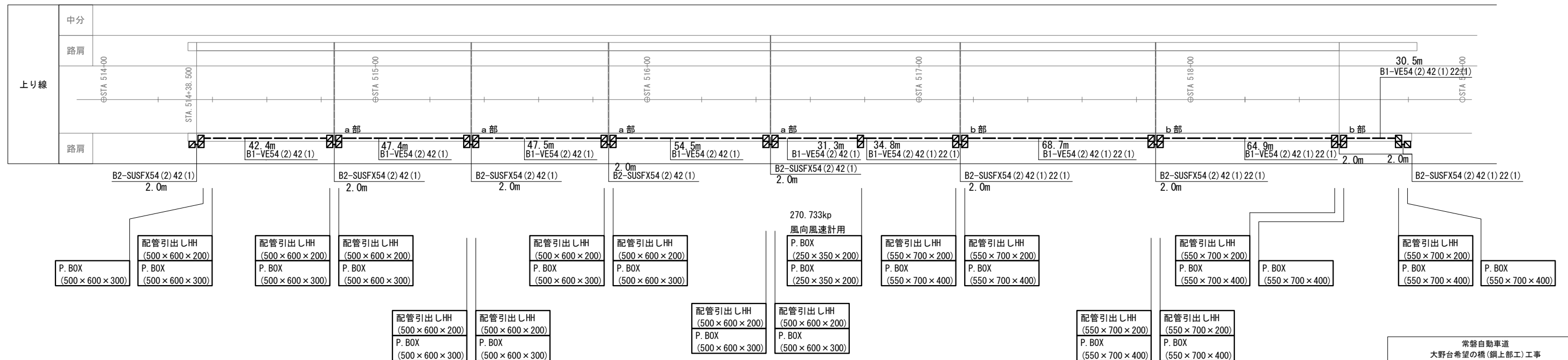
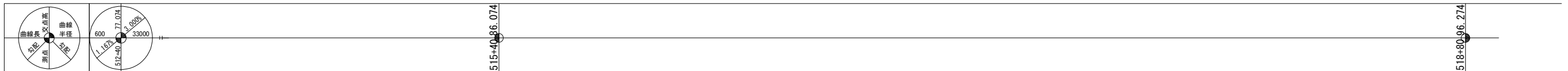
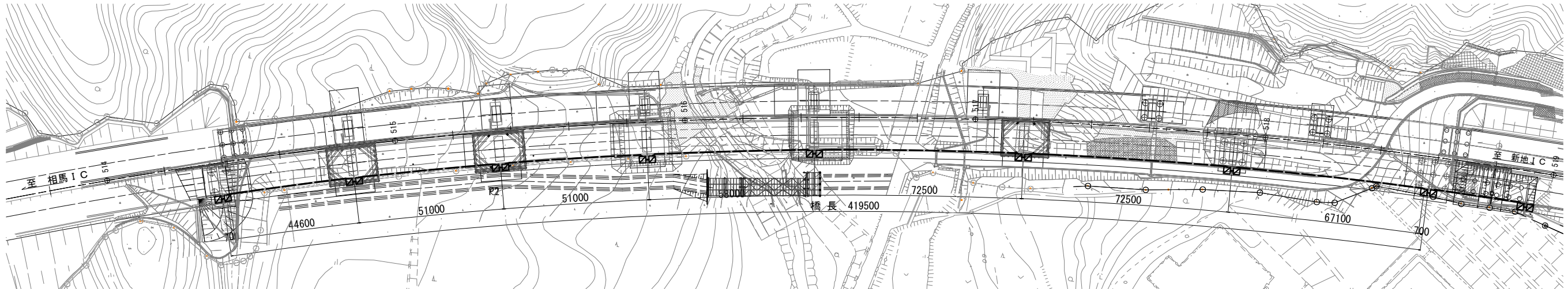
数量集計表

項目	種別・寸法等	単位	数量	摘要
迂回路看板	1100×1400	枚	5.0	

○ は看板の位置とする。

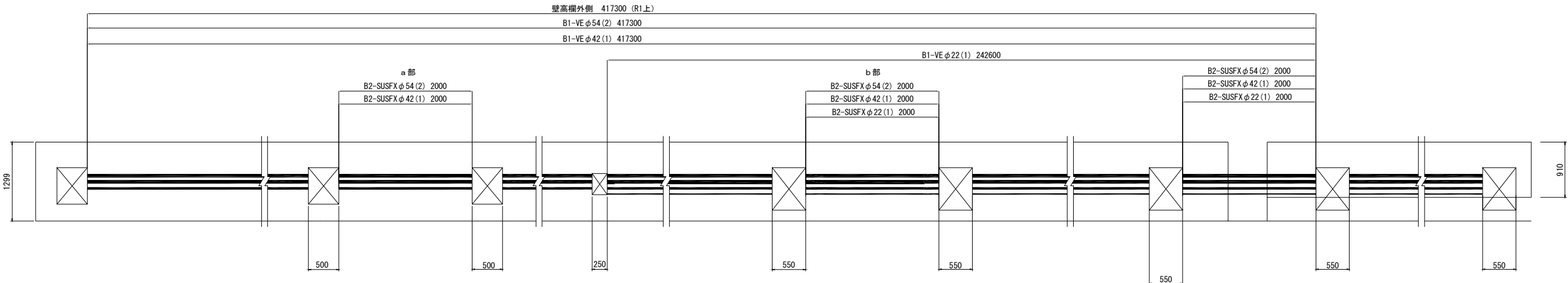
常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	迂回路看板位置図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

## 大野台希望の橋 橋梁管路図

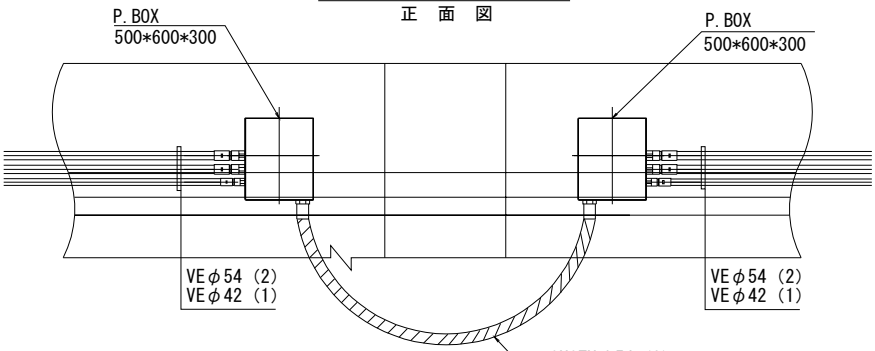


常盤自動車道 大野台希望の橋(橋上土工)工事		
図面の種類	大野台希望の橋 橋梁管路図	
縮 尺	1:1500	図面番号 /
設計会社名	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所	

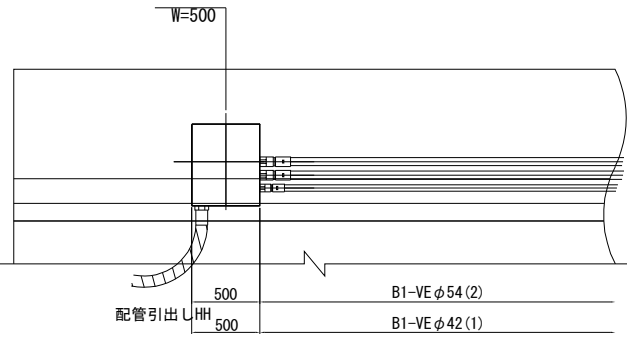
側面図 S=1:75  
右側



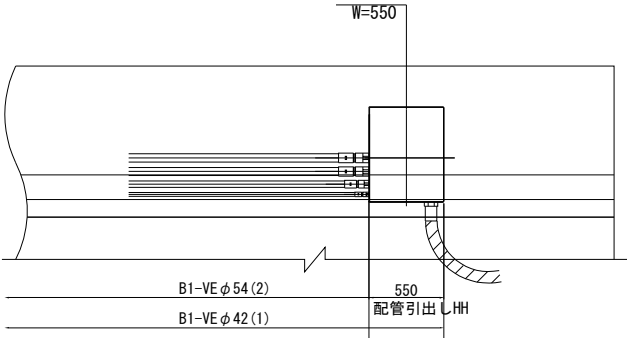
ハンドホール接続部 a部 S=1:50  
正面図



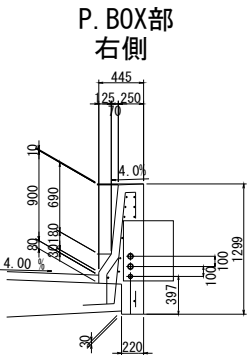
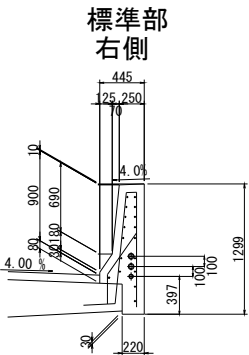
A1橋台ハンドホール部～ S=1:50  
正面図



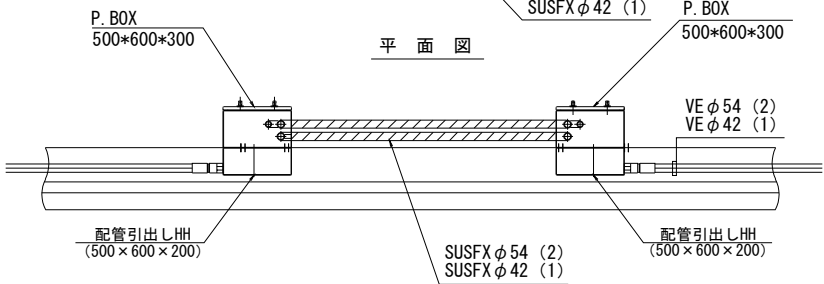
A2橋台ハンドホール部～ S=1:50  
正面図



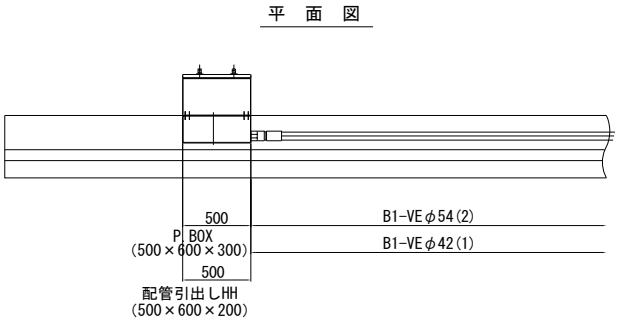
断面図 S=1:75



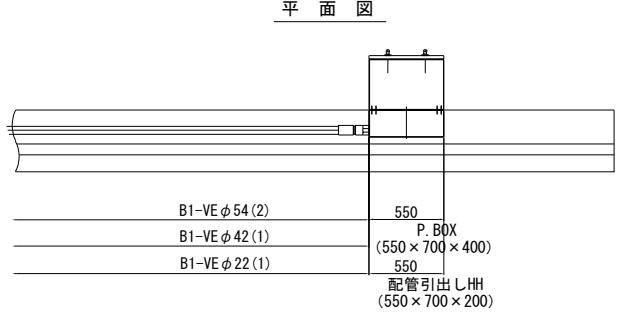
平面図



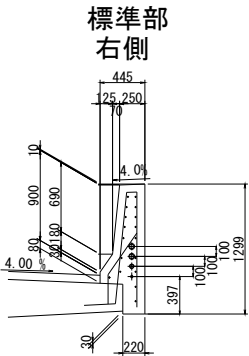
平面図



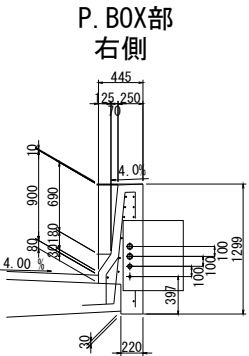
平面図



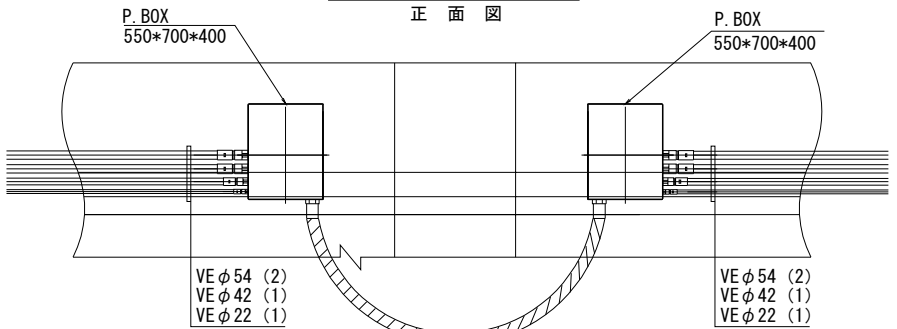
標準部  
右側



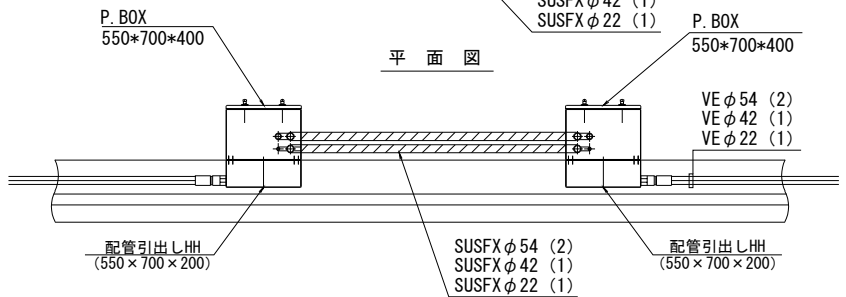
P.BOX部  
右側



ハンドホール接続部 b部 S=1:50  
正面図



平面図



数量集計表

項目	種別・寸法等	単位	数量	摘要
通信管路配管工	B1-VE54	m	872.4	
	B1-VE42	m	436.2	
	B1-VE22	m	267.6	
	B2-SUSFX54	m	36.0	
	B2-SUSFX42	m	18.0	
	B2-SUSFX22	m	8.5	
ハンドホール設置工	配管引出し HH 550*700*200	箇所	6.0	b部:5箇所
	配管引出し HH 500*600*200	箇所	9.0	a部:8箇所
	ブルボックス設置工 P.BOX 550*700*400	箇所	8.0	b部:6箇所
	ブルボックス設置工 P.BOX 500*600*300	箇所	10.0	a部:8箇所
	ブルボックス設置工 P.BOX 250*350*200	箇所	2.0	

注1) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

注2) 鋼製ブルボックスでは、垂鉛メッキ仕様の板厚は2.3mm（ただし、600口以上はアングル補強又は3.2mm使用）とする。

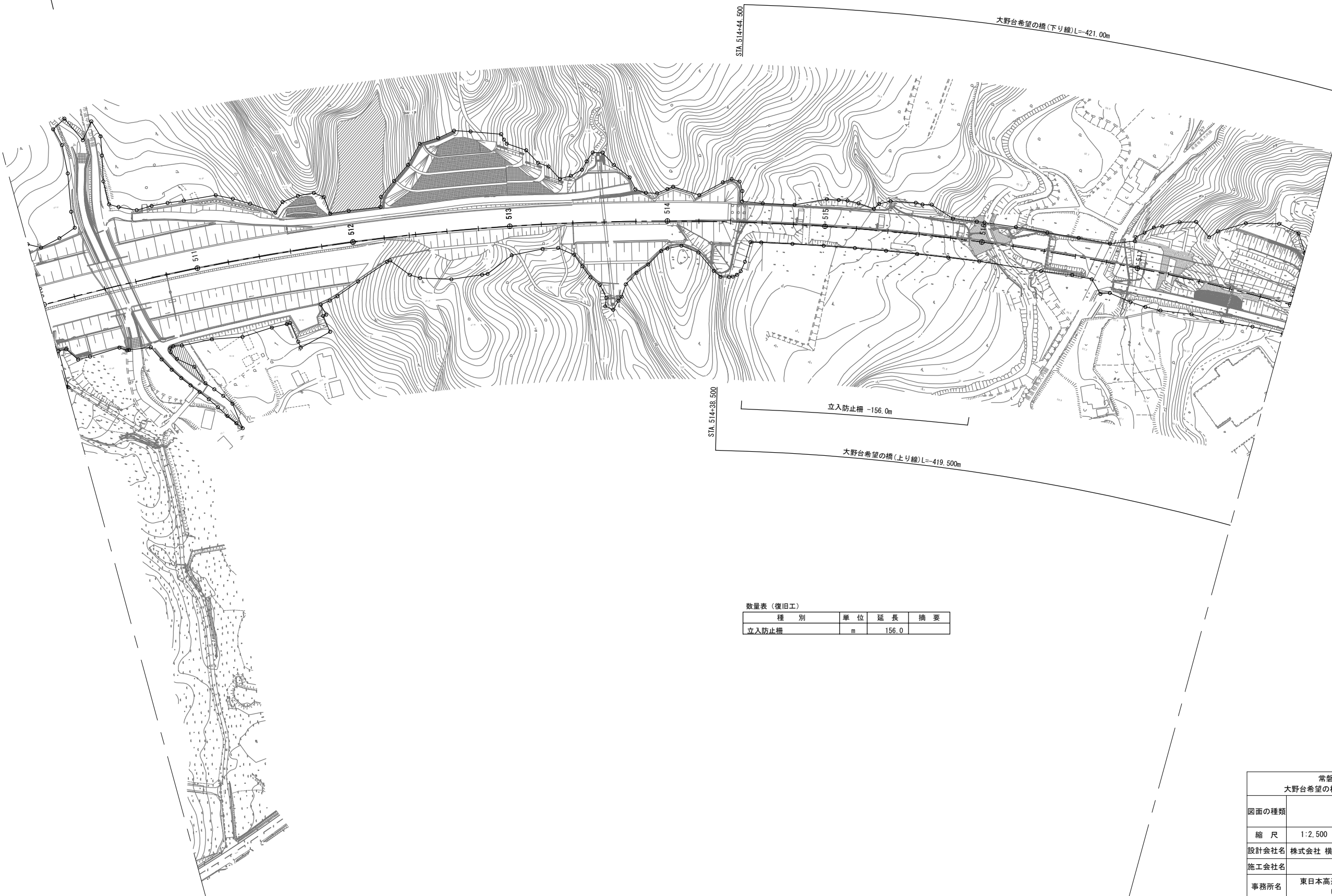
注3) 鋼製ブルボックスの表面処理仕様は、垂鉛メッキの場合は、HDZT49以上とする。

常磐自動車道			
大野台希望の橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	大野台希望の橋 通信管路配管図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

復旧工平面図  
(立入防止柵)

S=1:2,500

図面-10  
C-24 16.70×1.40×12.00×36.19  
STA 510.49 16.78 22.00  
(市道中継133号線)

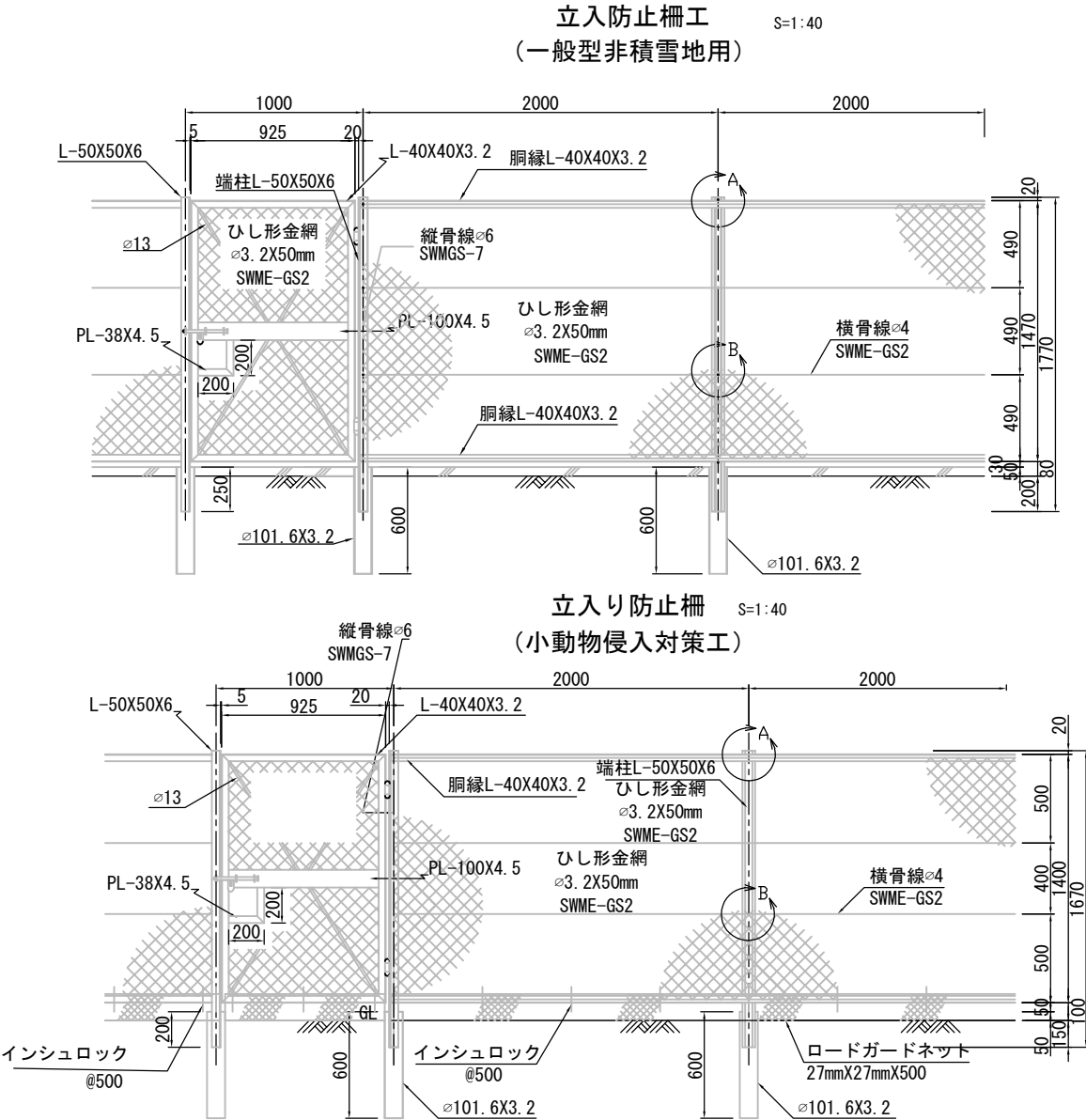


数量表(復旧工)

種 別	単 位	延 長	摘 要
立入防止柵	m	156.0	

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	復旧工平面図 (立入防止柵)		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

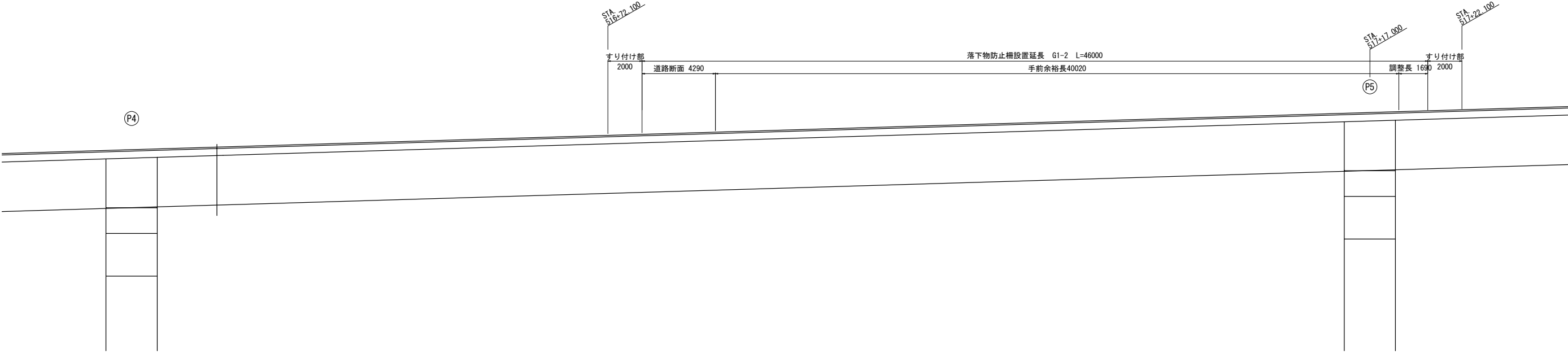
復旧工詳細図  
(立入防止柵)



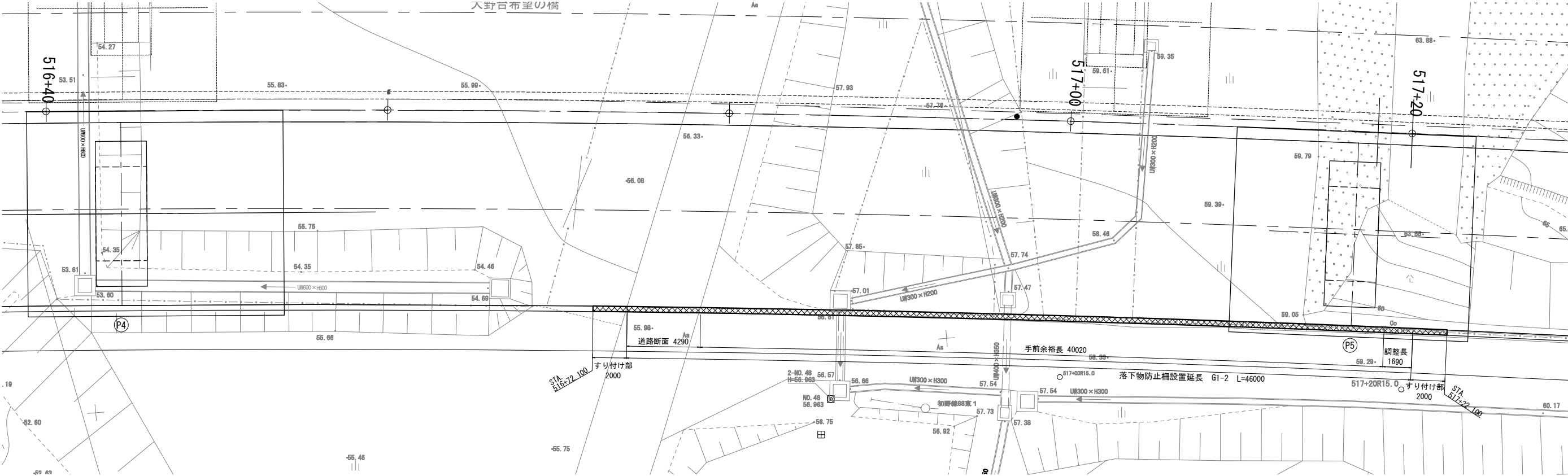
常磐自動車道 大野台希望の橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	復旧工詳細図 (立入防止柵)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		


大野台希望の橋 落下物防止柵詳細図

側 面 図 S=1:250



平 面 図 S=1:250



注)  は、落下物防止柵を示す。

名 称	形状・規格	単 位	数 量	摘 要
落下物防止柵	G1-2	m	50.0	

常磐自動車道 大野台希望の橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	大野台希望の橋 落下物防止柵詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		